

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	教育文化施設：第五中学校改修工事					
補 助 事 業 者 名	武蔵村山市長					
実 施 場 所	第五中学校（残堀五丁目55番地）					
補助事業の成果の目標	<p>第五中学校は昭和55年及び昭和60年に建設し、建設後30年以上経過しているため建具の老朽化が激しく、既存ゴムパッキンの摩耗等による雨水の漏水が起こり、隙間風も多く、また開閉が困難な箇所が多数あり、劣悪な教育環境となっている。</p> <p>このことから、建具等の改修工事を行い、生徒の学習の場である教育環境の改善を図るものである。</p> <p>【参考指標】 第五中学校生徒数 612人（令和4年5月1日現在）</p>					
補 助 事 業 の 内 容	校舎窓枠等建具・外装及び屋上防水改修工事					
補助事業の始期及び終期	令和元年度～令和4年度					
事業費及び交付金額		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	事業費	円 5,871,250	0	円 157,520,000	円 108,130,000	円 271,521,250
	交付金額	円 5,000,000	0	円 80,930,000	円 90,402,000	円 176,332,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 学校の教員及び学校関係者等（生徒等）からの声をヒアリングした結果、「窓、ドア等の開閉がスムーズになり、また、屋上防水改修工事を行ったことにより、雨漏りの心配がなくなり教育環境が改善されたことで、快適に授業を受けられるようになった」などの声が聞かれ、当該事業により教育環境の改善が図られていることを確認することができた。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページに掲載 ・「教育むさしむらやま」で保護者に通知（予定） ・工事完了後に当該施設に補助事業であること明示 					
事業の改善措置及び今後の対応	事業の改善措置はないが、市内には同様に改修が必要な学校があるため、今後も順次計画し事業を実施していく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					